

令和 6 年度 第 3 回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和 6 年 1 0 月 2 9 日（火）1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
場所	福井市総合ボランティアセンター（ハピリン 4 階）
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「座席表」の通り
	2 議事 <u>議案 1 : すまいるバスの運行計画変更について</u> （資料に基づき、京福バスより説明）
委員	松本地区に近く、身近な場所であるが、結局どこの橋を改修するから迂回ルートとなるのか。護国橋という名称を聞いたことがなかった。 道の反対側にも停留所があったと思うし、資料 1-1 の南の方には別の停留所もあったと思う。個人的には、文京一丁目の停留所を移設候補場所に移設したとしても、冬の融雪装置がないので、その場所に停留所設置というのは、多少気がかりである。既存の文京一丁目停留所でどのくらい乗車があるか分からないが、もっと手前の方で乗車する方が多かった場合は、フェニックス通り沿いに設置しても良いかなと思う。
事務局	橋の場所については、既存の文京一丁目停留所の南側の橋である。
会長	既存の文京一丁目停留所では、1 日にどのくらい乗車があるのか。
京福バス	1 日 5 名程度である。 このすまいるバス北ルートについては、左回りだけなので、逆回りはないので、停留所としては、左側に 1 つあるだけである。先ほどのフェニックス通り沿いへの設置となると、文京一丁目側からフェニックス通りを渡ってからでないと乗車できないということになる。そういったことを考えると、フェニックス通り沿いに移設しても使いにくいと考え、現在の移設候補地を検討している。
委員	資料には載っていないが、南側に他のバス停があったと思うが、その辺りで高校生とか中学生が乗車するかなと思うが、どちらかというとフェニックス通り沿いにあると、今まで道を渡って利用していた方たちにとっては良いと思う。また、フェニックス通りの方が歩道も大きいので、利用者にとっては乗りやすいのかなと思ったので、意見をさせてもらった。
会長	停留所の設置については、場所的制約があって、どこでも良いというわけにはいかない。あと、交通量も 1 か月後に流れてみないと分からない。実際に交通が流れると、ここに停留所を設置すると良くないといったようなことが

	分かると思うので、なかなか決めにくいところではある。また、意見があったとおり、工事があると橋の北側の人達は迂回しなければ南側に行けなくなるので、北側の人達は使わなくなる。とすると、南側のところで、使いやすい場所に設置ということも考えられるが、西環状線の南側からあがってくるどこかに設置ということも考えられる。後者の方が利用する方にとっては、利便性があがるかもしれない。今日は候補場所の提案であり、まだ時間があるので、少し探ってもらいたい。 あと、警察の安全確認も必要だと思うので、ここなら設置できる、ここだと危ないということについても、候補場所があがってからになると思うが、確認をしていただきたい。 警察として以下の段階で何か意見があればお願いしたい。
委員	事前に事業者から相談はあったが、場所的に のところは、写真を見ると左にカーブしている。また、図面では分かりにくいですが、松原病院から南進するところで左折専用レーンができるので、バスが停車しているときに先が見通せない中、追い越そうとしたときに危ないのではないかという話は事前にさせていただいた。利用が少ないということもあり、動いてみないと分からないという印象も持っている。
会長	は、左カーブということもあるし、危ないので、避けた方がよいと思われる。 か先ほどの手前のところかというところで探っていただければと思う。今回議事ではあるが、この場で移設場所の決定は難しい。検討中ということで、整い次第皆さんに報告していくということになると思う。
委員	運転手側の意見としまして、迂回ルートで、新しくできる交差点から右折する形で北進することになるが、かなり急な鋭角の交差点になると思う。この交差点は結構藤島高校方面へ右折する車がたまるので、停止線があまり前の方にあるとバスが右折できなくなる。その辺は停止線を引くときに配慮いただきたい。 原案のとおり承認。
会長	停留所移設場所については、メール等で皆さんにお伝えいただきたいと思う。 3 協議事項 <u>協議事項（１）：第２次福井市都市交通戦略の進捗管理について</u> （資料に基づき、事務局より説明）

委員	いろんな交通活性化のための会議、あるいは公共交通網の充実本当にありがたいと思う。あとはできれば、20 時 30 分以降の福井駅発着のバスが無くなるという非常に観光地としては厳しい状況なんかも今後検討していただきたい。今お願いしたいことは、いろんな公共交通機関が連動しながら、観光もだが、住民にとってのサービスにもつなげてほしい。これは、この会議の趣旨でもあると思うが、観光拠点が福井市に限ってもいくつもある。福井県ならもっと広がる。観光客で一番多いのは、新幹線で福井駅に着くことになる。そこから歩いていけるような場所として、まだ分からないが、アリーナ、あるいは足羽山、養浩館庭園があり、そこから広がると一乗谷、運動公園、フェニックス、ハーモニーがあるが、そういったところへの案内、いつもあるような観光拠点だけではなく、イベント対応もぜひ駅周辺のサインを充実していただきたい。いろんなイベントやろうとすると、主催者側が何番線の何に乗ってとか、西口と出てあるいは東口を出て、電車の時刻表をつけながら、そういった案内をしなければならない。自分たちもそういったことをやっているが、駅の案内板あるいは、電車の終点のところにデジタルで案内をしていただけると非常に良いと思う。来年の 7 月に高 P 連も千人規模の集まりがあるが、すでにフェニックスまでどのように行けばよいかといった問い合わせがある。住民にとってはよくわかるかもしれないが、電車あるいはバス、あるいはタクシーで行かれる方、自分たちも今年長野に行ったが、そういったものを使いながら、移動した。とにかくそういった案内については運輸関係だけでは無理だと思うし、市や県の縦割りでも絶対に無理だと思う。当然 JR からハピラインへの乗り換え、こういったものも最初が一番充実させたいと言っていたが、いろんな交通機関の乗り換えについて、インバウンドも含めて分かるようなものを今後さらに充実させてほしいという要望です。
事務局	北陸新幹線が開業して、福井では今後様々な会議が開かれることになるかと思しますので、こういった会議やイベントに対応した案内サインというのは、県外から来られるお客様に対するサービスの向上になると思う。関係部局の方にも、こういった意見があったことを伝えていきたいと思う。 加えて、この後駅周辺地区交通戦略の進捗状況の中で、今ほど要望をいただいた福井駅を中心とした乗り継ぎの案内サイン等につきまして、説明させていただきたいと思う。3 月の北陸新幹線開業に向けて、駅や観光交流センター等施設が改築されたところも併せて、一旦は案内サインが整備されたというつもりではあるが、拡充、さらに分かりやすくというようなご意見等もいただいているというふうにも思っているので、後ほど、取組状況という形で説明させていただく。
委員	運転免許の自主返納の促進ということで、課題として、講座と外出体験をセ

事務局	ットにすることが難しいとあるが、理由を教えてください。 地域交通課も担当課と連携して、座学での講座と体験をセットにして秋ぐら いに毎年 1 回ずつぐらい開催しているものである。なかなかセットにすること が難しいと書いているが、バスを体験するとなると使い方が分からないとい うところからのスタートとなり、座学で乗り方等の教室を開催することが あるが、実際に同じ日にその場で外出となると、少しハードルが高いという 面がある。そのようなことから 1 日体験するというのが、年によっては困 難な状況がある。公共交通のバスの乗り方等について、この機会だけではなく て、その他の機会等で周知を図っていく必要があるので、そのあたりは、 今後の課題として関係部局と協議していきたいと思う。
委員	1 ページ目の実施状況の部分で、公共交通ネットワークの骨格として維持確 保したと記載があるが、本当なのかなと思う。大野線とか清水グリーンライ ン等が事実として 10 月以降大幅に減少しているわけなので、資料にも記載し なければならないと思う。本日も減便後の状況の報告をされるのであれば、 課題等の記載、今後アウトプットとしてどうしていくのか、といったところ はきちんと記載していただく必要があると思う。
事務局	実施状況については、令和 5 年度までの状況について記載しており、それま では維持確保ができたと考えている。ただ、今後の取組み課題等については、 ご指摘のとおり大野線等の減便もあり、交通ネットワークが維持されている のかどうか大きな課題となっていると認識している。今後継続して、維持 確保ができていくのかについては、進捗状況を見ていきたい。
会長	今後の取組・課題等のところには、引き続きということだけではなく、2024 年の運転士確保の問題だとか、減便の問題とかをしっかりと記載し、意識を もって取り組んでいるということが見えるように補足をしてもらいたい。
委員	協議事項（２）：福井駅周辺地区交通戦略の進捗管理について （資料に基づき、事務局より説明） 資料 3 枚目の公共交通利用促進のところ、ふくアプリで MaaS を活用した県 外からの利用促進と記載はあるが、例えば今年新幹線開業前後に IC カードの 半額キャンペーンを福井県が施策で実施したと思う。かなりインパクトも大 きかったと思うので、追記をしてもらえればと思う。また、今月の 3 連休に も IC カード無料キャンペーンを実施した。こちらも福井県の施策であったと 思うが、市も財政支援など一部していると思うので、記載したほうが良い。 当日は私自身も利用したが、乗客と話をしていると、大阪から来て福井県内

	のバスを乗り倒すんだという方が結構いた。比較的 SNS で情報を得たとか、県外からバスに乗るためだけに来たという方が少なくとも私が乗ったバスでは結構いた。丸岡城のまつりとかにも県外の方が無料キャンペーンを使って行ったということを確認している。ぜひ IC カードのところも記載してもらえればと思う。
事務局	今後の取組課題等のところには、今いただいた意見に係る事項についての記載も追記していきたいと思う。協議先はいろいろあるので、協議とか取組はやっていきますというような記載になろうかと思う。
委員	資料 2 枚目の道路や広場を活用したにぎわいの創出というところで、当面はランチタイムを中心にキッチンカー運用に限定しながらとあるが、つくづくまちなかのにぎわいについて、やっぱり福井駅にせっき新幹線で来たのに 8 時 9 時で駅周辺が真っ暗である。これは敦賀駅も同じであるが、ただ敦賀駅ではご存じのとおり屋台のラーメンが並んでいて、そういったにぎわいの創出がずっとされている。なぜ夜間に人が集まる活用ができないかと思う。駅からそれこそ浜町や片町に歩いていくのもちょっと距離があると思う。もうちょっと駅前全体のにぎわいといったところで、せっき来てくれた人を 7 時ぐらいで帰らせてしまうのではなく、9 時 10 時までいてもらいたいと思う。こういったことをすると、治安のことなどもあると思うが、夜間の活用も考えてもらえると、飲んだあとにタクシーで帰るかとかいう流れにもなるし、あらかじめバスや電車、タクシーなど公共交通の利用を考えてそちらの利用促進にもつながりそうな予感がする。 あとは、先ほどの駐車場の利用状況や割引だが、県外と比べると福井県の駐車料金はかなり安いと思う。利用しやすい環境ではあると思うが、それがゆえに、バスとか電車が使われにくいと感じる。駅前に本来なら身軽に来て、身軽に帰ってもらう、そんなまちづくりが一番いいかなと思うが、やっぱり車で来てしっかり買い物して、どさっと荷物を乗せて帰りたいという人が多いと、なかなかバス、電車、タクシーの利用には繋がりがづらい。そういったところも踏まえると、あえて夜の時間帯に駐車料金を上げてしまうのも逆にはいいのかなと思う。そこから少しでも公共交通に促せたら利便性が上がるかなと思う。また、昔は福鉄で電車の中で、ちょっとしたビアガーデンみたいなものもやっていたと思うが、今後人口減少が進んでいく中で、バスを使った婚活イベントみたいなもので福井市内や福井県内を巡るといったイベントも検討してもらえると、より若い世代もいろんな場所に行って、観光に触れてもらえると福井の魅力が伝わるんじゃないかなと思う。どうしてもいろんな世代の人を対象にすると、なかなか悩ましいものがあると思うが、にぎわいとなると、若者になるかなと思う。もっと、夜 8 時 9 時以降の駅周辺の活性化に何か力を貸してもらえたらと思う。

事務局	夜のということであるが、まず「ほこみち」のところの利用について苦労したのは、やっぱり福井というところで申し上げると、冬場は雪が降ったりとか、「ほこみち」事業を始めても、なかなか認知されない。今年度ようやく、火曜日と木曜日はお昼にキッチンカーが出ているということについては、少しずつ広がっていて、キッチンカーを出している事業者もお客さんが来てくれるということで、根付き始めた。これがさらに広がっていくような方法とかまでやっていった場合に、夜のいうところでは何かにぎわいが広がる場所が見いだせれば、夜の方向にいくということもひとつかと思う。なかなか、利用者の方に知っていただいてということがあるかと思うので、にぎわいに繋がっていくような取り組みを検討していきたいと思う。 それから先ほど駐車場の料金についてありましたが、実際に他都市の事例を見ると、福井の駐車場は決して高くないということがあるかと思う。ただ、自動車で利用される方が相当数いるので、駐車場のもっと利用しやすい環境を作っていくと、まちなかにどんどん来てもらえる人が一定数いると思う。ご指摘については、検討の中で考えていきたいと思う。
委員	個人的な知識では、福井の屋台に関してはアルコールの提供が禁止されているといった話を聞いたことがあるが、中央公園とかでイベントをやる際には店頭でいろんな業者がアルコールを提供している。なぜ屋台だとダメなのか疑問であるが、キッチンカーとしての営業なら許可が出るのであれば、飲食で開業してみたいという若手の雇用の創出や独立といった活気にも繋がってくるんじゃないかと思う。もちろんに経営が軌道に乗れば、駅前の店舗に入ったりとかもあると思うので、長期的な目でみると、そういったサポートもしてあげると、より活発になると思う。
会長	資料の2枚目でサインの話が出たと思う。今後の取組・課題等を見ると、会議を通して築いたネットワークを活用して統一感を持った整備を行っていくとなっているが、これは例えば福井市の中心部エリアのデザインコード計画だとか、サイン計画みたいなものはあるのか、ないのか。
事務局	福井市の公共サイン整備計画というものがあり、そこにデザインマニュアルというものを定めている。まちなかだと、横断歩道の脇に下に赤いバーがついていて、2枚組になっており、左側に地図、右側の施設の名前のところに方向を表示している。それを多言語化と含めた形の2枚のパターンもあれば、地図がない1枚のパターンもある。上にインフォメーションのアイコンマークを取り付けている。それらを定めたデザインマニュアルというものがある。
会長	そういうものがあるので、みんなで共有し合いながら、新しいことをしよう

	とするとときに、それに則って整合させる形でということになると思うが、いつ、どのタイミングで作ったものなのか。新幹線を迎えようとして、作ったものになるのか。
事務局	もっと前に作ったものになると思う。
会長	いろいろと出てくると、周知されているのかとか、みんなどこまで理解しているのかのような問題が何かあっても、知らないとか、意識していないとか、その辺も大きい気がする。
事務局	マニュアルが出来上がってから、相当な時間が経って、ガイドライン自体が大分変わってきてしまっている部分を踏襲できていないので、ガイドラインそのものを見直す必要がある。また、デジタル等の技術革新というところが、今のガイドラインには全然考慮されていない。ガイドライン自体を見直さなければならないのではないかという議論は庁内ではある。先ほどの交通系 IC カード、サイネージということも含めると、どのような情報案内が利用者にとって分かりやすいかっていうところについては、ガイドラインそのものを拡充するとか、ということも含めて、取り組み継続していく必要があると思っている。
会長	作ったのが古そうだということで、継ぎはぎみたいになっている可能性もあるそうなので、この交通会議でもそういう話が出て、サインはすごく大事なもののなので他にも観光業界の方でもそうだし、商店街のみなさんにも考えがあると思うので、そこは記録に残して、何かのときに、重要性等も強く言ってもいいと思う。
	以上